

平成28年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月10日

上場会社名 株式会社オウチーノ 上場取引所 東
 コード番号 6084 URL http://www.o-uccino.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)井端 純一
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 (氏名)村田 吉隆 (TEL)03(5402)6887
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第2四半期の連結業績(平成28年1月1日~平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	526	△18.4	△51	—	△53	—	△55	—
27年12月期第2四半期	645	—	△89	—	△89	—	△81	—

(注) 包括利益 28年12月期第2四半期 △55百万円(—%) 27年12月期第2四半期 △81百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第2四半期	△46.28	—
27年12月期第2四半期	△68.75	—

(注) 1. 平成28年12月期第2四半期及び平成27年12月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失金額であるため、記載しておりません。
 2. 平成27年12月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第2四半期	1,182	743	62.6
27年12月期	1,302	798	61.0

(参考) 自己資本 28年12月期第2四半期 740百万円 27年12月期 795百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年12月期	—	0.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日~平成28年12月31日)

平成28年12月期の連結業績予想につきましては、合理的な業績予想が困難であるため、記載しておりません。なお、当該理由等は添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

28年12月期2Q	1,288,500株	27年12月期	1,288,500株
-----------	------------	---------	------------

② 期末自己株式数

28年12月期2Q	100,000株	27年12月期	100,000株
-----------	----------	---------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年12月期2Q	1,188,500株	27年12月期2Q	1,188,306株
-----------	------------	-----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、日銀による大規模な金融緩和を背景として、緩やかな景気回復が期待されたものの、不安定化する世界情勢や中国経済の先行き懸念から、市場における円高・株安傾向が一段と進み、更なる景気の下押しリスクに一層留意が必要となっています。

当社グループが運営するポータルサイト「0-uccino(オウチーノ)」の事業ドメインである住宅・不動産業界では、低水準の住宅ローン金利や国の住宅取得支援策等もあり、消費者の所得改善の進展次第では、今後も住宅・不動産需要は底固く推移するものと考えられます。

このような環境のもと、当社グループは、中期成長戦略“VISION 2017”(2015年から2017年)を策定し、「事業構造の転換」と「収益基盤の確立」に取り組んでまいりました。中核である住宅・不動産関連ポータル事業は収益性の回復と再成長のための取り組みを持続的に実施すると同時に、コスト面でも広告宣伝費を中心に費用対効果の検証に基づいた合理化を推進しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は526,825千円(前年同期比18.4%減)、営業損失は51,937千円(前年同期は営業損失89,857千円)、経常損失は53,974千円(前年同期は経常損失89,374千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は55,006千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失81,689千円)となりました。それぞれ前年同期に比べ損失は圧縮しました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

①住宅・不動産関連ポータル事業

当セグメントにおきましては、サイト集客力の回復を目指し、SEO(検索エンジン最適化)を中心としたWebマーケティング強化策に取り組んでいます。当第2四半期連結累計期間においては、エリアページの充実やコンテンツSEO対策の強化に注力しました。また、Webマーケティング施策の効果をより高めるため、インフラ整備やデータベース統合へのシステム投資も行っています。コスト面では、リスティング広告を中心に広告運用をすることで広告宣伝費の合理化を図りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の住宅・不動産関連ポータル事業の売上高は364,936千円(前年同期比18.2%減)、セグメント損失は37,768千円(前年同期はセグメント損失91,940千円)となりました。

②インターネット広告代理事業

当セグメントにおきましては、インターネット広告の提案による顧客のマーケティング支援等を行うことにより、代理店手数料を獲得しております。しかしながら、業界の競争激化もあり、自社商品の開発によって収益性の向上を図ることが課題です。

この結果、当第2四半期連結累計期間のインターネット広告代理事業の売上高は113,389千円(前年同期比38.9%減)、セグメント損失は174千円(前年同期はセグメント利益8,418千円)となりました。

③プロパティ事業

当セグメントにおきましては、連結子会社(株)スペースマゼランでの不動産購入・開発・販売等により構成されております。当社で取り扱う投資用賃貸物件等の仕入、建築計画が順調に進捗し、第3四半期以後の売上確保に向けた販売活動に注力しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間のプロパティ事業の売上高は16,089千円(前年同期比266.5%増)、セグメント利益は204千円(前年同期はセグメント損失100千円)となりました。

④その他

当セグメントにおきましては、投資用不動産のインバウンド・アウトバウンド事業、全国の医師・病院の検索・クチコミの医療系ポータルサイト「Dr.0-uccino」の運営等により構成されています。アウトバウンド事業では、不動産投資セミナーの動画配信などWeb集客の強化にも取り組みました。

この結果、その他の売上高は32,453千円(前年同期比188.5%増)、セグメント損失は14,408千円(前年同期はセグメント損失6,445千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は1,182,864千円となり、前連結会計年度末に比べ119,895千円減少しました。

主な要因は、現金及び預金の減少341,095千円、売掛金の減少26,725千円、販売用不動産の増加147,369千円、前渡金の増加100,035千円であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は439,063千円となり、前連結会計年度末に比べ64,826千円減少しました。

主な要因は、買掛金の減少37,030千円、未払法人税等の減少24,649千円、短期借入金の減少150,000千円、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金含む)の増加150,000千円であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は743,800千円となり、前連結会計年度末に比べ55,069千円減少しました。

主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金の減少55,006千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、連結子会社(株)スペースマゼランでのプロパティ事業を始めとして複数の新規事業が成長段階にあります。その進捗により業績が変動する可能性が高く、現時点での合理的な算定が困難であることから、業績予想の開示を見合わせております。今後の進捗等を踏まえ、合理的な算定が可能となりました段階で速やかに開示を行う予定であります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)
(税金費用) 税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	767,263	426,167
売掛金	159,708	132,983
販売用不動産	100,598	247,968
貯蔵品	1,146	418
前払費用	17,616	18,116
前渡金	165,340	265,375
短期貸付金	8,500	8,500
未収入金	2,732	5,349
その他	4,433	7,678
貸倒引当金	△200	△200
流動資産合計	1,227,140	1,112,358
固定資産		
有形固定資産	20,894	19,884
無形固定資産		
商標権	1,159	1,056
ソフトウェア	9,810	8,333
その他	1,042	924
無形固定資産合計	12,012	10,314
投資その他の資産	42,712	40,307
固定資産合計	75,619	70,506
資産合計	1,302,759	1,182,864
負債の部		
流動負債		
買掛金	48,081	11,050
未払金	34,370	42,719
未払費用	31,232	31,919
短期借入金	300,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	—	50,004
未払消費税等	21,703	7,074
前受金	18,314	27,232
未払法人税等	26,799	2,149
預り金	13,784	8,546
賞与引当金	7,085	6,237
その他	2,517	2,133
流動負債合計	503,890	339,067
固定負債		
長期借入金	—	99,996
固定負債合計	—	99,996
負債合計	503,890	439,063
純資産の部		
株主資本		
資本金	395,293	395,293
資本剰余金	385,293	385,293
利益剰余金	255,628	200,622
自己株式	△241,159	△241,159
株主資本合計	795,057	740,050
新株予約権	3,812	3,750
純資産合計	798,869	743,800
負債純資産合計	1,302,759	1,182,864

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
売上高	645,834	526,825
売上原価	269,845	213,764
売上総利益	375,988	313,061
販売費及び一般管理費	465,845	364,999
営業損失(△)	△89,857	△51,937
営業外収益		
受取利息	75	217
その他	533	66
営業外収益合計	608	283
営業外費用		
支払利息	—	1,322
株式交付費	29	—
たな卸資産除却損	—	673
その他	96	325
営業外費用合計	125	2,320
経常損失(△)	△89,374	△53,974
特別利益		
新株予約権戻入益	1,025	62
特別利益合計	1,025	62
税金等調整前四半期純損失(△)	△88,349	△53,912
法人税等	△6,659	1,094
四半期純損失(△)	△81,689	△55,006
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△81,689	△55,006

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
四半期純損失(△)	△81,689	△55,006
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	△81,689	△55,006
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△81,689	△55,006
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
	住宅・不動産関連 ポータル事業	インターネット 広告代理事業	プロパティ 事業	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	446,020	185,676	2,890	11,247	645,834	—	645,834
セグメント間の内部売上高 又は振替高	209	—	1,500	—	1,709	△1,709	—
計	446,229	185,676	4,390	11,247	647,543	△1,709	645,834
セグメント利益又は 損失(△)(注)2	△91,940	8,418	△100	△6,445	△90,067	210	△89,857

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額210千円はセグメント間取引消去210千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
	住宅・不動産関連 ポータル事業	インターネット 広告代理事業	プロパティ 事業	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	364,893	113,389	16,089	32,453	526,825	—	526,825
セグメント間の内部売上高 又は振替高	43	—	—	—	43	△43	—
計	364,936	113,389	16,089	32,453	526,868	△43	526,825
セグメント利益又は 損失(△)(注)2	△37,768	△174	204	△14,408	△52,147	210	△51,937

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額210千円はセグメント間取引消去210千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、従来「その他」に含まれていた「プロパティ事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成したものを記載しております。